

伊予蒲鉾株式会社

～宇和海の恵みが生きている、伝統の味と技～



浸水した店舗部分



車は3台が廃車になった



修繕・入替えされた設備



復旧後、製造したちくわ

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市宇和町瀬戸390-1
- 連絡先：0894-66-0334
- 事業内容：食品製造業
- HP：<http://www.iyokamaboko.co.jp/>
- 代表者名：代表取締役社長 三好一臣
- 企業のPRポイント：昭和48年創業。「じゃこ天」などの水産練り製品を素材の鮮度、味にこだわり、一品一品丹精込めて作っています。

🕒 災害前後の経緯

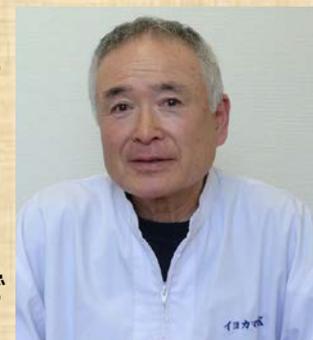
- 7日午前3時頃に工場の様子を見に行くと、すでに敷地内は60cmほど浸水しており、その後、どんどん水かさが増し、80cmぐらまできました。
- 工場は30cmかさ上げしているものの、電気系統・モーター類が下部に設置してあるほとんどの加工機械は水に浸かり、また、大切なフライヤーもガスの配管に水が入り、使用不能になりました。
- このほか、段ボール、包装資材なども濡れてしまい、使えなくなったので廃棄せざるを得ませんでした。
- お盆はお正月の次に忙しい時期ですが、フライヤーが故障で使えなくなったため、12月に新しいフライヤーに入れ替えるまでの数か月間は、汗だくとなりながら手揚げで対応しました。
- グループ補助金がなければ廃業を考えたかもしれません。

🔦 活用した支援策他

- 西予市の制度を活用して、無利子の融資を受けています。
- グループ補助金で製造設備の復旧を行ったほか、対象とならなかったものは、西予市の補助金を活用しています。

👤 事業者からのメッセージ

- 八幡浜市からこの場所に移転してきて30年ほど経ちますが、小さな水害は何度かありました。それを教訓として、事務所を2階にしたり、工場や倉庫をかさ上げするなど、いろいろ対策は取ってきました。知識や情報を集めて、人間ができることをすれば、水害にあっても被害を少しは回避できると思っています。
- 災害対策として、「荷物は必ずパレットの上に置く」など、工場の中でいろいろなルールを決めても、長期に渡って徹底することは並大抵のことではありません。なぜそう決めたのか日々の仕事の中で意識し、ルールを守ることが大事です。
- 販路の拡大や跡継ぎのことなど課題は多いですが、これからも頑張っていかなければと思っています。



三好代表取締役社長